川上宏奨学金受給研究結果報告書

1. 論文タイトル

在日中国人留学生の異文化適応におけるメディア利用に関する研究
—小紅書 (RED) を中心に—

2. 研究背景と目的

異文化環境への適応は、留学生にとって重要な課題であり、その過程においてメディアが果たす役割が注目されている。エスニックメディアは、母語での情報提供を通じて移民や留学生がホスト社会の文化や制度を理解するための架け橋となり、情報収集やコミュニティ形成、心理的安定の確保に重要な役割を果たしている。ホスト社会メディアは、移民のホスト社会への適応、言語習得、文化理解を促進し、母国メディアは心理的安定や母国との関係維持に寄与している。また、母国メディアとエスニックメディアの境界が次第に曖昧になりつつあり、両者が融合する傾向が見られる。本研究は、在日中国人留学生のメディア利用の実態を明らかにし、異文化適応を進める過程においてメディアが果たす役割を検討した。特に、母国の SNS である小紅書 (ショウホンシュウ、以下 RED) の利用が、留学生の生活適応や心理的安定、文化的理解にどのように寄与しているのかを検証した。

3. 研究方法

調査方法として、インタビュー調査と質問紙調査を実施した。インタビュー調査では、日本語学校の留学生 3 名と大学院生 3 名の合計 6 名を対象に、具体的な事例を通じてメディア利用が異文化適応にどのように寄与しているかを詳細に検討した。質問紙調査では、有効回答数 204 票を基に記述統計を用いてデータの概要を把握し、因子分析、分散分析、相関分析などを行い、検討した。

4. 研究結果・考察

インタビュー調査の結果、RED や WeChat といった中国系 SNS が、生活情報の収集や問題解決、心理的安定の確保において重要な役割を果たしていることが明らかになった。特に RED は、日本生活上の問題や学習、就職活動において具体的で実践的な情報源として機能し、異文化適応を促進していた。また、ホスト社会のメディアも、言語習得や日本社会への理解を深める手段として活用されていた。

質問紙調査の結果、SNS の利用動機と異文化適応感には有意な関連性が見られ、特に交流/自己表現動機が適応を促進する一方、気晴らし動機には学業への集中を妨げる側面が示された。さらに RED の利用は、母国との関係維持にも寄与していた。

結論として、SNS を中心としたメディア利用が、異文化適応を促進することが示された。また、母国の SNS である RED は、在日中国人留学生にとって日本社会への適応を支えるエスニックメディアとして重要な役割を果たしており、情報提供や心理的支援を通じて留学生を支えていることを明らかにした。本研究の結果は、留学生が異文化に適応するための具体的なサポート方法を考える手がかりとなるとともに、デジタルメディアがその過程でどのように役立つかを理解するための重要なヒントを示している。

5. 謝辞

本研究を実施するにあたり、奨学金を給付して下さった故川上宏先生とご家族、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。